乃木希典夫人の銅像再建呼びかけ

2015年03月17日 ツイート 0 おすすめ 0 g+1 0

日露戦争で陸軍大将として指揮を執った乃木希典（まれすけ）の妻・静子（1859～1912年）の銅像再建を目指す団体が15日、鹿児島市の天文館で初めての街頭募金活動を行った。道行く人に建立計画を知らせ、協力を呼びかけた。

この団体は、静子の出生地・鹿児島市新屋敷町の有志らでつくる「乃木静子夫人奉賛会」（平瀬葉子会長、約25人）。来年11月の建立を見据え、募金の目標金額を1000万円と掲げている。すでに個人や企業から約150万円の協力を得られたという。

この日の活動には約20人が参加。建立計画について記したチラシを買い物客らに配りながら、「建立に協力してください」と声を上げた。

日置市東市来町の古城ミツエさん（70）は「大変な時代を生きた強い女性だと思う」と話し、浄財を寄せていた。

静子は明治天皇の崩御にあたり、1912年9月13日、夫と殉死した。19年に新屋敷町の甲突川沿いに高さ約1・2メートルの像が建てられたが、戦時中に軍事資材として供出され、現在は台座だけ残っている。

2015年03月17日 Copyright © The Yomiuri Shimbun

2015 年 03 月 17 日　読売新聞（YOMIURI ONLINE）地域版